

●はじめに

簡単な操作説明しかありませんので、画面表示項目等の概略については「御書システム」ホームページをご参照ください。本 Viewer は簡易閲覧ソフトであり、未完成で低機能です。また、バグ等の不具合もあるかもしれませんがご了承ください。

●ウィンドウ操作



ESC キーでウィンドウを閉じることができます。(※「目次」ウィンドウ以外)

●検索について

各ウィンドウの検索ボックスをクリックして検索ワードを入力し、Enter キーまたは「検索」ボタンで検索します。

結果はカーソル左右キーで前後に移動できます。

「目次」、「資料」、「辞書」はひらがなでも検索可能です。

(例)「立正安国論」を検索したい → 「あんこく」等と入力して検索

スペース区切りで AND 検索可能です。

完全一致で見つからなかった場合は、部分一致での結果が表示されますので、ご注意ください。

●「御書目次」ウィンドウ

クリックで遺文集・部
類選択ウィンドウ

押せないボタンは現
在使用できません

表示中の番号／検索結果数
クリックで結果をリセット

クリックしても目次ウ
ィンドウは閉じない

各ウィンドウを開く

検索ボックス

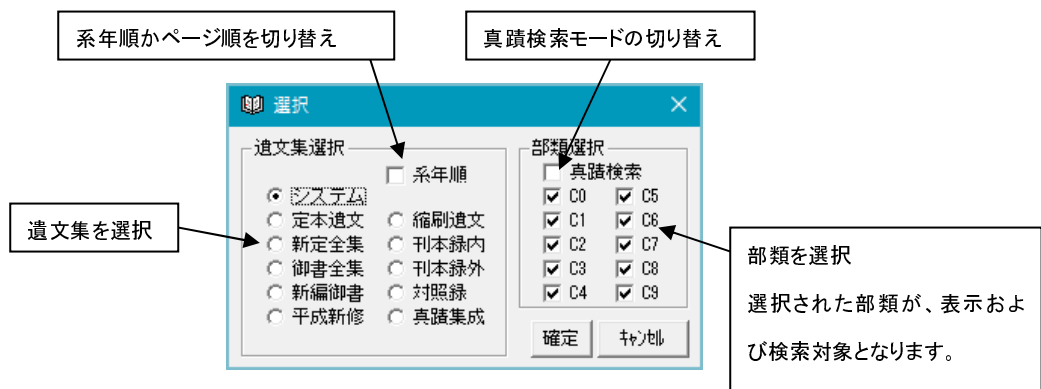
すべてのウィンドウ
を閉じてViewerを終
了する

選択行
Enter キーまたはマウスポタンの
ダブルクリックで開く

カーソル↑↓キーまたはマウ
スホイールでスクロール
マウスポタンクリックで選択

冊書番号	御書名	拾紙	系年	対告者
11005	1-013 武蔵殿御消息	有 3	正元01年	武蔵公御房
11011	1-014 十住毘婆娑論尋出御書	有 3	10月14日	武蔵公御房
11021	1-015 武蔵公御房	有 3	不明	不明
11640	1-016 武蔵公御房	有 3	不明	不明
11751	1-017 武蔵公御房	有 3	不明	不明
11784	1-018 龍前得道有無御書	有 6	文永06年頃か	不明
11838	1-019 二乗作仏事	有 6	文永10年頃か	不明
11917	1-020 災難興起由来	有 0	正元02年02月上旬	不明
11979	1-021 災難対治抄	有 0	正元02年02月頃	兵部阿闍梨
12090	1-022 十法界明因果抄	有 5	文応01年04月21日	不明
12251	1-023 鳴法華題目抄	有 4	文応01年05月28日	不明
12495	1-024 立正安国論	有 0	文応01年07月18日	北条時頼
12698	1-025 椎地四郎殿御書	有 6	04月28日 (ヲツマ上は)	椎地四郎
12719	1-026 船守弥三郎許御書	有 6	弘長01年06月27日	船守弥三郎夫妻
12749	1-027 同一鹹味御書	有 6	弘長01年	不明
12766	1-028 四恩抄	有 6	弘長02年01月15	不明
12836	1-029 教機時国抄	有 6	要検討 (ヲツマ上)	不明
12900	1-030 行者仏天守護抄	有 6	弘安02・03年頃か	不明
12908	1-031 顕勝法抄	有 3	文永09年頃	不明
13161	1-032 論談敵対御書	有 1	弘長02年	不明
13165	1-033 持妙法華問答抄	有 6	文永06年～文永	不明
13285	1-034 月水御書	有 6	文永01年04月17	不明
13346	1-035 題目弥陀名号勝劣事	有 6	文永01年	不明

●「御書選択」ウィンドウ



遺文集の詳細は「辞書」ウィンドウで「遺文集」または「いぶんしゅう」で検索してください。

部類の詳細は「辞書」ウィンドウで「C」(大文字)または「しー」で検索してください。

「真蹟検索モード」

検索対象が真蹟直読データのある行に限定されます。

御書本文ウィンドウでは真蹟直読データのない行は灰色で表示されます。

行単位でしか真蹟の有無を判別できませんので、最終的には1文字ずつデータの確認が必要です。

●「御書本文」ウィンドウ

しおり(現在の表示条件)を保存・読込できます。

検索結果を一覧ウィンドウが開きます。

行の移動と、検索対象を表示中の御書に範囲限定する。

真蹟⇔写本の切り替えと、データ有無を表示。Sキーでも切り替え可。

真蹟直読⇔真蹟活用または門下写本⇔原型活用の切り替え

ページ数を入力してEnterキーでページ検索ができます。
行数はカーソル左右キーで選択。
(現在、一部遺文集は未対応)

縦書き横書き表示の切り替え
スペースキーでも可

検索対象にしたい項目をクリックしてチェックマークを付けます。

メモはCtrlを押しながらダブルクリックで編集できます。
改行はCtrl+Enterキー。

青色の数字はクリックで該当ウィンドウが開く、またはページ移動します。

カーソル上下 行の前後移動

Ctrl+カーソル上下 前後の御書先頭へ移動

カーソル左右 検索結果の前後移動

スペースキー 縦書き・横書き表示切り替え

Sキー 真蹟・写本の表示切り替え

縦書き表示に切り替えた場合、横書きで表示中の行が常に右端に位置するように表示されます。

「御書本文」ウィンドウでは、「検索」ボタンをCtrlキーを押しながらクリックすると、漢字のみの検索ができます。(主に経文等を検索する時に使います)

●「御書資料」ウィンドウ

資料「戒体即身成仏義」

1-001 仁治03年 80128458788 目次 本文 法華 年表 辞書 検索 0/0

定番 1 1242年 戒体即身成仏義 6 不明 証権

新番 1 21歳 かいだいそくしんじょうぶつぎ

収録 10001 定本 1.1 新定 1.2 全集 新編 1.4 新修 縮 1.5 内 39-1.2 外 対照 集成

解説

『日祐目録』（写本の部）、『日朝本目録』『平賀本目録』『刊本録内』等所収。日進の『本迹事』日全の『法華問答正義抄』第十六に引用される。

戒について、小乗の戒体、権大乘の戒体、法華開会の戒体、真言宗の戒体の四項を設けて述べる。第一に小乗の戒体とは①俗男俗女の五戒②四衆通用の八斎戒③比丘戒の二百五十戒④比丘尼戒の五百戒の四種であり、「尽形寿一業引一生」として今生一生に限る戒体であり、二乗の戒体である。第二に権大乘の戒体とは『梵網經』『璣珞經』の戒であり、菩薩歴劫修行の戒である。二乗を嫌う故に十界互具ならず、仏因仏果の戒体ではない。第三に法華開会の戒体とは、『法華經』において二乗・女人・惡人等が記別を受け、十界皆成が説かれたことにより、不改本位の即身成仏が成立し、その立場から「我が身十界を具すと心得るとき」こそ、中道戒たる法華の戒体を持するのであり、「一分の行無くして即身成仏する」のであると説かれている。しかしこれは真言の初門であるとする。第四の真言宗の戒体については相承の法門故に説示せず、しかしながら顯教たる『法華經』の戒体より密教の戒体は勝れることを示すために、標章に名目のみを載せたとしている。以上の如く本書は密教為本の台密思想といふことができよう。また、浄土宗に対する厳しい批判が見られる。

『日祐目録』（写本の部）『日朝本目録』『平賀本目録』『刊本録内』『縮冊遺文』『定本』『新定』は「戒体即身成仏義」、『日誦目録』『日明目録』は「戒体即身成仏」である。

『刊本録内』、日奥所持本、『日奥目録』『御書鈔』は文永三年とし、『日誦目録』『日明目録』『録内扶老』『定本』『新定』は仁治三年とし、『縮冊遺文』は仁治三年（或云文永三年）とする。本書は「安房国清澄山住人達長く『録内』『日進』」撰」とあり、更に内容的に密教色合いことからして、文永三年はありえない。仁治

千葉県平賀本土寺蔵『平賀本』所収

文章をマウスドラッグで範囲選択し、マウス右ボタンメニューまたは上の「本文」「辞書」等のボタンをクリックすると、各ウィンドウが開き検索が行われます。

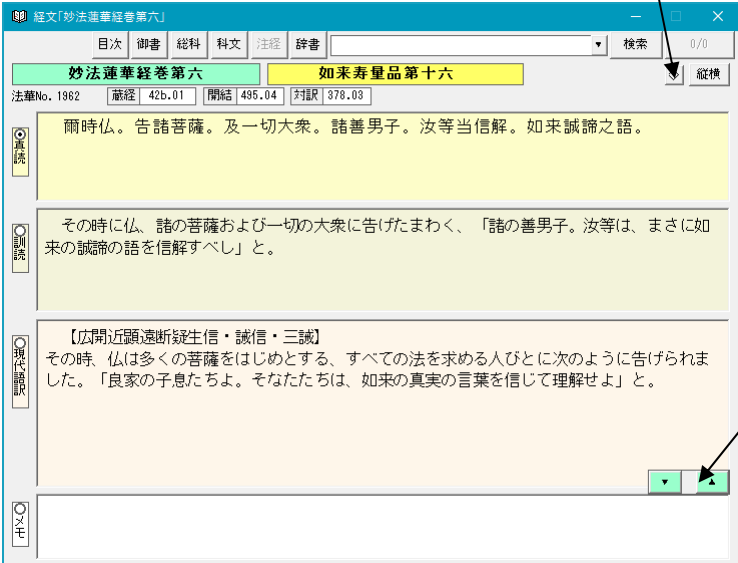
右側の枠内をダブルクリックすると、左側の大きな枠内に表示されます。

再度右側のいずれかの枠をクリックすると元に戻ります。

文章の範囲選択はマウスのドラッグ選択のほか、ダブルクリックでもある程度自動選択可能です。

●「法華経経文」ウィンドウ

検索対象および上下キー移動範囲を、現在表示中の品に限定する。



カーソル上下キーと同じ
Ctrl を押しながらクリックで
前後の品先頭へ移動

カーソル上下 行の前後移動

Ctrl+カーソル上下 前後の品先頭へ移動

カーソル左右 検索結果の前後移動

スペースキー 縦書き・横書き表示切り替え

S キー 縦書き表示で「真読・訓読」⇄「訓読・現代語訳」の表示切り替え

●「法華経総科」「法華経科文」ウィンドウ

「総科」と「科文」の表示を切り替えます。スペースキーでも可。

ウィンドウを閉じて、選択された経文に移動します。Enter キーやマウスボタンのダブルクリックでも可。

法華No.	経行頁	開結頁行	対訳頁行
1350	27b.12	355.01	254.01
1430	29b.22	373.01	270.01
1473	30b.28	383.01	279.01
1547	32b.16	399.01	294.01
1640	34b.23	421.01	314.01
1698	35c.27	435.01	326.01
1742	37a.09	445.01	335.01
1866	39c.18	473.01	358.01
1961	42a.29	495.01	378.01
2031	44a.05	511.01	393.01
2135	46b.21	531.01	411.01
2179	47c.02	541.01	420.01
2289	50b.23	565.01	440.01
2339	51c.08	577.01	450.01
2375	52c.03	585.01	458.01
2388	53a.04	589.01	462.01
2459	55a.13	608.01	479.01
2514	56c.02	622.01	494.01
2581	58b.08	638.01	509.01
2620	59b.28	648.01	518.01
2672	61a.05	661.01	530.01
2716	389b.25	673.01	542.01
2717	389b.28	673.05	542.03
2722	389c.09	674.09	543.11

カーソル上下キーで移動と選択、もしくはマウスホイールでスクロール、クリックで選択を行います。

●「辞書事典」ウィンドウ

『法華経』の題目の五字で、妙法蓮華経のこと。一經全体を包含する題目であり、同時に『法華経』の肝要でもある。末法の衆生を救済する要法とされる。『如来滅後五百歳始観心本尊抄』〔17847〕には「在世の本門と末法の始は一同に純円なり。但し彼は脱、此れは種なり。彼は一品二半、此れは但題目の五字なり」とあり、題目の五字たる妙法蓮華経が末法下種の要法である旨が明示されている。 →妙法蓮華経。要法。下種。

関連語
クリックで辞書ウィンドウが開きます。

※辞書データには「御書システム」の使い方やシステムの説明項目も含まれていますが、ほとんどが本 Viewer ソフトには適用できませんのでご注意ください。

●「年表」ウィンドウ

年号選択モードに切り替え

スペースキーでも可

青字はクリックで本文が開きます。

開きます。

年表									
<div> <div>0123456789</div> <div>並替:3234No.順</div> </div> <div> <div>目次</div> <div>本文</div> <div>資料</div> <div>454</div> <div>辞書</div> <div>史料</div> <div>年表設定</div> <div>検索</div> <div>0/0</div> </div>									
天皇	院政	摂関 (摂) 近衛兼光	将軍	執権	年号	聖寿	月日	事項	関連・備考
後深草	後嵯峨	(摂)鷹司兼平	宗尊親王	北条時頼	1252 建長 4年	31	8月17日	幕府 鎌倉深沢に金銅大仏を铸造	吾妻鏡
							8月	宗祖 叡山を下り三井に遊学	富士年表
							9月30日	幕府 鎌倉および諸国市に沽酒禁制を定む	吾妻鏡
							11月15日	寂日坊日華 甲斐国二十日村(秋山氏)に生る	富士年表
							12月 4日	忍性(良観) 常陸国の三村寺清涼院に入る	一般年表
							この年	日頂 駿河国重須に生る	富士年表
							2月15日	日興の父妙行卒	日蓮宗年表
							2月16日	日向 上総国に生る	富士年表
							3月28日	宗祖 清澄寺にて宗旨建立の内証を宣示	聖典 87
							4月28日	宗祖 清澄寺において宗旨建立	No.2107 0
					1253 建長 5年	32	6月10日	鎌倉大地震	吾妻鏡
							7月12日	朝廷 新制18条を宣下	一般年表
							8月26日	宗祖 草庵を鎌倉松葉谷に構う	日蓮宗年表
							示寂以前	道元「正法眼蔵」などを著す	一般年表
							8月28日	道元 寂54歳	一般年表
							9月16日	幕府 関東新制を出す	吾妻鏡
							10月 1日	幕府 諸国地頭代の検断について制定	一般年表
							11月25日	時頼(執権) 鎌倉に建長寺を創建し道隆を請ず	吾妻鏡
							11月	日昭 宗祖に入弟	富士年表
							12月 9日	宗祖 書を富木常忍に報ず【土木殿御返事(富木殿御返事)】	番号1-002 0
							この年	富木常忍 入信	No.10177 0
							この頃	宗祖 父母を授戒し、日蓮と更名	富士年表

カーソル上下 行の前後移動

カーソル左右 検索結果の前後移動

Enter キー 「関連・備考」のリンクが存在する場合はリンク先を開く

スペースキー 年号選択モードの切り替え